

料金別納郵便



# 秋山 陽 + 北村 純子 展

令和5年6月13日(火)~19日(月) 会期中無休

開廊時間: 午前11時~午後7時(最終日19日は午後5時まで)

作家在廊日: 6月13日(火)、14日(水)、19日(月) photo. 来田 猛

## 秋山 陽

昭和28年 山口県に生まれる  
昭和53年 京都市立芸術大学 陶磁器専攻科 修了  
平成9年 日本陶磁協会賞  
平成13年 現代陶芸の精鋭(茨城県陶芸美術館)  
平成16年 Confronting Tradition  
(スミス・カレッジ美術館)  
平成17年 現代日本陶磁器展(ボストン美術館)  
平成19年 円空大賞展 円空賞  
平成21年 MOA 岡田茂吉賞工芸部門大賞  
平成23年 毎日芸術賞  
平成24年 ソンリュエール 物質 移動 時間  
(金沢21世紀美術館)  
平成26年 Into the Fold(ハーン美術館)  
平成28年 日本陶磁協会賞金賞  
秋山陽 アルケイの海へ(智美術館)  
平成30年 秋山陽一はじめに土ありき  
(京都市立芸大ギャラリー@KCUA)  
令和元年 Echos: In the Beginning Was Clay  
(カタル・ミュージアム・ギャラリー)

## 北村 純子

昭和31年 京都に生まれる  
昭和57年 京都市立芸術大学 美術研究科 修了  
昭和63年 個展  
(南青山グリーンギャラリー/平成4年)  
平成4年 個展(Garth Clark Gallery/平成7.10年)  
平成17年 現代日本陶磁器展(ボストン美術館)  
平成19年 魅せられる~今注目される日本陶芸  
(滋賀県立陶芸の森陶芸館、他)  
平成21年 装飾の力(東京国立近代美術館工芸館)  
平成25年 Fired Earth, Woven Bamboo  
(ボストン美術館)  
平成27年 秋山陽+北村純子展  
(Joan B. Mirviss LTD/令和2年)  
令和4年 Femmes Ceramistres in Japon  
(ギメ東洋美術館)

秋山陽さんと北村純子さんは、京都市内に工房を構える陶芸家のご夫妻です。秋山作品は、ひたすらに土と向き合い、力感溢れる大小様々なオブジェなどで世界中の愛陶家を魅了し、他方、北村作品は、気の遠くなるような細かい家紋の技法による繊細な仕事ぶりでも人気を博しています。

さて、弊廊で十年振りとなるご夫妻展では、秋山さんは用のうつわに挑まれ、茶碗、花入、掛花入など20余点を。北村さんはうつわ、鉢、合子など20点の、それぞれ最新作を発表致します。今年の1月にご夫妻が弊廊にいらして下さった時、制作途中の茶碗や花入の写真を拝見したのですが、とても魅力ある逸品となっていて、心がサーッと動きました。これらかどの様に完成したか、私も楽しみでなりません。

いつぞやが、本展の打合せのため、京都市内のとても素敵なお二人の工房を訪ねました。いれていただいた香り高いコーヒーを頂戴しながら、再会を祝し、焼き物談義に花が咲きました。飾らないお二人の温かなお人柄もあり、私の憧れのご夫妻です。梅雨時で恐縮ですが、ご清覧頂ければ幸いです。店主 安田尚史

不審子ギャラリー  
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階  
03-3352-5118 gallery@kakiden.com  
https://www.kakiden.com/gallery/



お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報を確認頂ければ助かります。

## 北村純子

Vessel 23-3

H38×W14.7×D14.7cm

## 秋山 陽

うつわ5

H40×W18×D14cm



北村純子  
Vessel 23-2 H41×W20×D20cm



秋山 陽  
無題 MV-231 H21×W42×D21cm



秋山 陽  
[左] うつわ1 H23.5×W15×D15cm [右] うつわ3 H36×W11×D11cm



北村純子  
Vessel 23-4 H15×W17.3×D17.3cm